

分析試験項目	結果	検出限界	注	分析方法
鉄	検出せず	1ppm		原子吸光光度法
pH	12.0(23)			ガラス電極法
比重(20)	1.002			浮秤計法
ABS又はLAS	検出せず			薄層クロマトグラフ法
蛍光増白剤	検出せず		1	染色法
ヒ素(Asとして)	検出せず	0.05ppm		DDTC-Ag吸光光度法
鉛	検出せず	0.05ppm		原子吸光光度法
カドニウム	検出せず	0.01ppm		原子吸光光度法
総水銀	検出せず	0.01ppm		還元気化原子吸光光度法
銅	検出せず	0.05ppm		原子吸光光度法
スズ	検出せず	1ppm		ポーラログラフ法
総クロム	検出せず	0.5ppm		ジフェニルカルバジド吸光光度法
フェノール類 (フェノールとして)	検出せず	5ppm		4-アミノアンチピリン吸光光度法

1. JIS K3362(1990)「合成洗剤試験方法」による

試験菌	試料	生菌数(/ ml)			
		開始時 ¹	3時間後 ²	6時間後 ²	24時間後 ²
大腸菌	試験液	3.3 × 10	< 10	< 10	< 10
	対照	3.3 × 10	4.8 × 10	1.8 × 10	3.3 × 10
緑膿菌	試験液	5.2 × 10	< 10	< 10	< 10
	対照	5.2 × 10	3.4 × 10	2.1 × 10	6.5 × 10
サルモネラ	試験液	4.5 × 10	< 10	< 10	< 10
	対照	4.5 × 10	2.4 × 10	7.2 × 10	1.5 × 10
黄色ブドウ球菌	試験液	4.9 × 10	1.1 × 10	10	60
	対照	4.9 × 10	5.5 × 10	8.8 × 10	1.0 × 10
MRSA	試験液	2.5 × 10	6.5 × 10	10	10
	対照	2.5 × 10	2.8 × 10	4.5 × 10	9.8 × 10
腸炎ビブリオ	試験液 ³	4.4 × 10	< 10	< 10	< 10
	対照	4.4 × 10	5.5 × 10	1.1 × 10	3.1 × 10
枯草菌(芽胞)	試験液	5.7 × 10	2.8 × 10	2.9 × 10	1.9 × 10
	対照	5.7 × 10	2.9 × 10	3.5 × 10	4.9 × 10

対照:滅菌精製水(ただし、腸炎ビブリオは食塩を3%加えた。)

¹ 対照の生菌数を測定し、開始時とした。

² 保存温度:25

³ 食塩を3%添加した。